

あいち地域循環圏形成プラン

愛知のポテンシャルを生かした資源循環モデルの展開



平成29年3月

 愛知県

あいち地域循環圏形成プラン

プランの趣旨・目的

未利用資源・未利用エネルギーの地域内循環を目指した「あいちゼロエミッション・コミュニティ構想」(平成 18 年度)を継承し、平成 28 年度を目標年次とした「新・あいちエコタウンプラン」(平成 24 年度)に代わる新たな計画として策定しました。

本プランでは、「あいち資源循環推進センター」を核として、本県の持つ自動車産業を中心とした厚い産業集積や、全国有数の農業基盤、豊かな森林資源などの多様な地域ポテンシャルを生かした新たな資源循環モデルの展開や、循環ビジネスの振興、持続可能な社会を担う人材の育成、資源循環に関する情報の発信などの取組を、多様な主体との連携の下で進め、「循環の環」を重層的に構築する「地域循環圏」の実現を目指します。

計画期間

■計画期間：平成 29 年度から 33 年度までの5年間

あいち資源循環推進センター

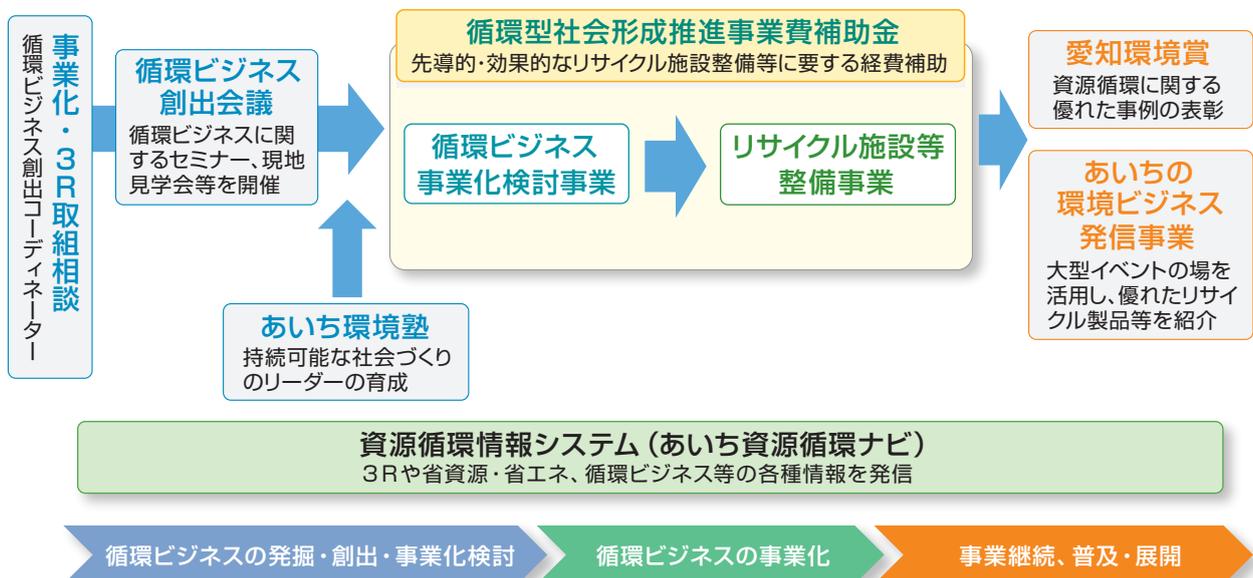
新たな循環ビジネスの発掘、事業化から円滑な事業継続まで一貫して支援するため、産学行政の協働拠点として県庁西庁舎 1 階に開設しています。

環境技術や循環ビジネスについて豊富な知識と経験を持つ「循環ビジネス創出コーディネーター」を配置し、経済団体や大学等との幅広い連携体制の下、循環ビジネスの事業化相談や 3R に関する情報提供、各種支援制度の周知など、事業者等に向けた本県独自の様々な取組をサポートしています。

URL : http://aichi-shigen-junkan.jp/shiru/center/center_info/



あいち資源循環推進センターによる支援の仕組み



愛知のポテンシャルを生かした資源循環モデルの展開

施策の柱と主な取組

1. 資源循環モデルの新展開

(1) モノづくり循環をリードする取組の促進

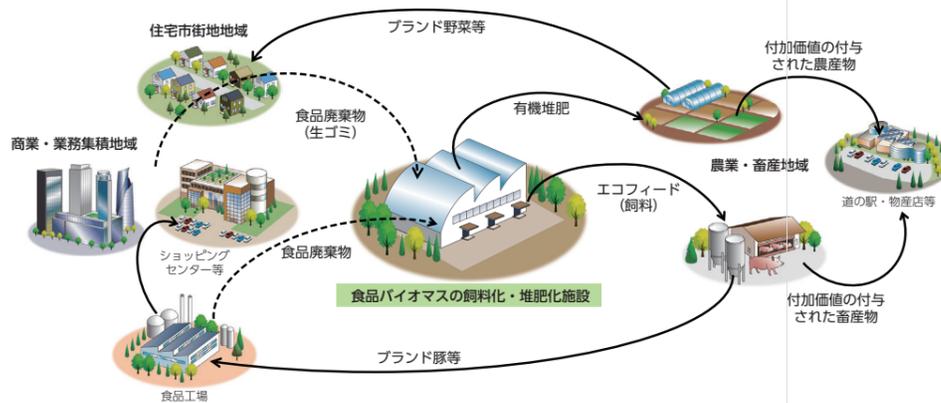
これまで培ってきた資源循環の取組の幅広い普及や、新たな循環ビジネスの創出・事業化を支援促進し、産業・技術の集積を生かしたモノづくり過程での資源循環をリードする技術・事業の普及・発展を図ります。

(2) 新たな広域循環モデルの創設

持続可能な地域づくりにつなげるための新たな循環モデルとして、3つの広域循環モデルの具体化を目指します。

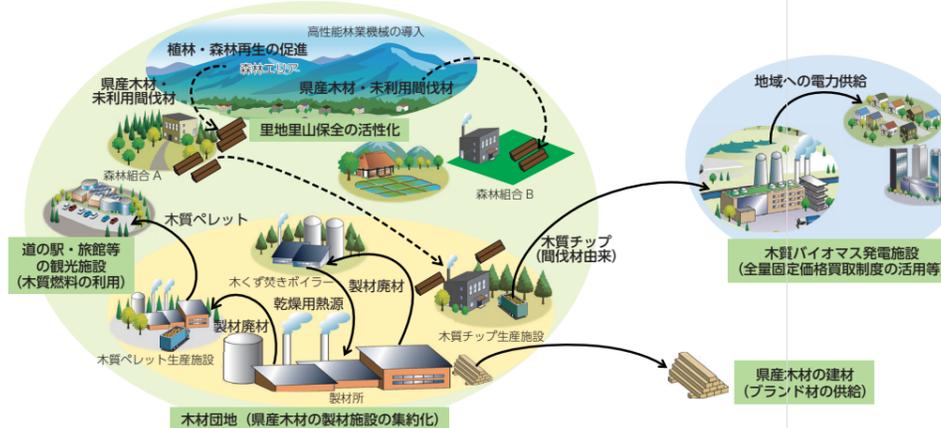
① 「地産地消の推進と一体となった食品循環ループ」

農業や畜産業とも連携し、食品廃棄物の飼料化・堆肥化を通じた農畜産物の高付加価値化など、地産地消の推進と一体となった食品循環ループの展開を目指していきます。



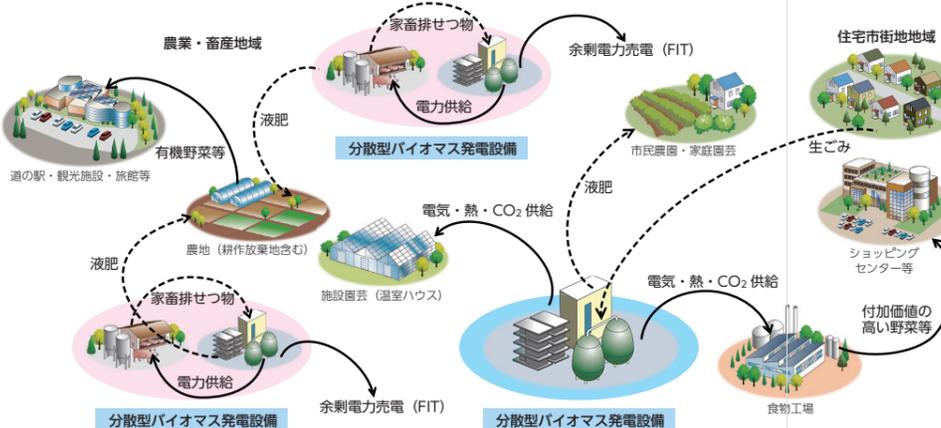
② 「森林保全対策等と連携した里山循環圏モデル」

森林保全対策などとも連携しながら、里地里山保全事業を推進するとともに、未利用間伐材を活用した木質バイオマスの燃料化によるエネルギー利用などの取組等を図っていきます。



③ 「農畜産場等を核とした分散型バイオマス活用モデル」

技術開発が急速に進む分散型のバイオマス発電施設等を整備し、家畜排せつ物等のエネルギー利用の促進を図るとともに、バイオマス発電で排出される液肥等を地域の農場に還元する取組の展開を目指していきます。



(3) 地域循環圏づくり推進チームの立ち上げ

「あいち資源循環推進センター」を中心に、学識経験者や事業者、市町村等により、新たな広域循環モデルの具体化に向けた検討を行います。

2. 循環ビジネスの振興支援

(1) 循環ビジネスの発掘・創出・事業化支援

- ① あいち資源循環推進センターによる支援
 - ・循環ビジネス創出コーディネーター等による事業化に向けた相談や技術指導
 - ・コーディネーターや専門家を企業に派遣し、3Rの取組を支援
 - ・センターに併設する展示コーナーのリニューアル
- ② 循環ビジネス創出会議による支援
 - ・循環ビジネスに関するセミナー、現地見学会等を開催
- ③ 循環型社会形成推進事業費補助金
 - ・先導的・効果的なりサイクル施設整備等に要する経費補助



(2) 循環ビジネスの事業継続・普及展開支援

- ① あいちの環境ビジネス発信事業の拡充
 - ・大型イベント(メッセナゴヤ等)の場を活用した優れたリサイクル製品や技術等の紹介
- ② 愛知環境賞の表彰
 - ・先駆的で効果的な資源循環に関する優れた事例の表彰



3. 人づくりと情報発信の強化

(1) 人材育成の促進

- ① あいち環境塾によるリーダー育成
 - ・地域や職場のリーダーを志す人材を育成するとともに、修了後の活躍の場を広げる
- ② あいち資源循環推進センターによる人材育成
- ③ 企業のリサイクル施設等との連携
 - ・企業のリサイクル施設の高度な技術や環境への取組に直接触れる機会を創出



(2) 情報発信の強化

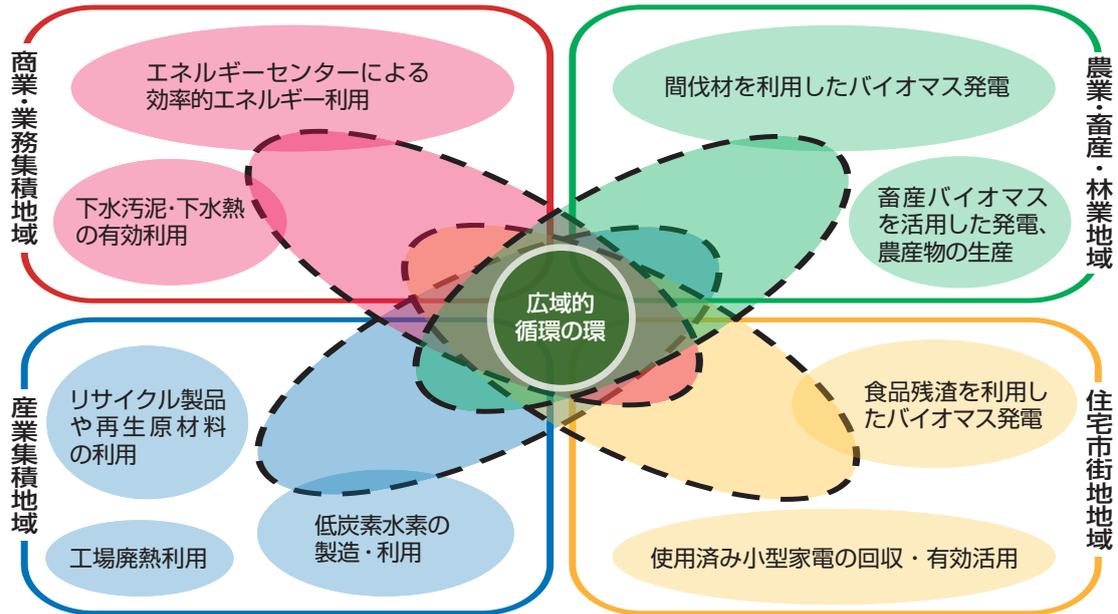
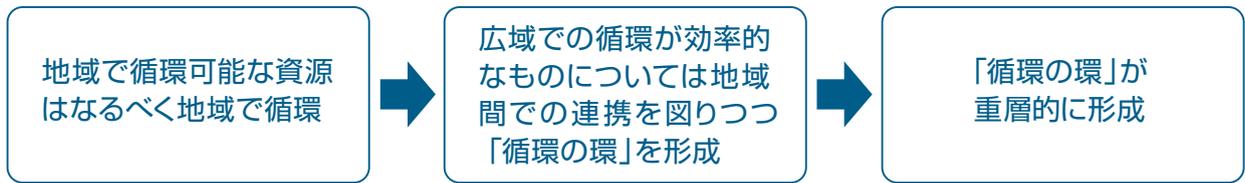
- ① 資源循環情報システムの充実
 - ・3Rや省資源・省エネ、循環ビジネス等の各種情報をニーズに合わせて掲載
- ② SNS等との連携
 - ・SNSや動画サイトとの相互リンクを進め、効果的な情報発信
- ③ あいち資源循環推進センターによる情報発信の強化
- ④ 愛知県リサイクル資材評価制度の効果的運用(「あいくる材のPR」)

4. 多様な主体の連携の促進

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) を始め多様な主体との連携強化、事業者間の連携促進

あいち地域循環圏形成プラン

地域循環圏のイメージ



モノづくり循環をリードする取組
(各地域における「循環の環」の起点となる先導的な取組)

商業・業務集積地域

商業・業務が集積する都市部では、他の地域と比べ人口の密度が高く、エネルギー使用量の大きい建物が密集して立地していることから、エネルギーセンターによる効率的エネルギー利用や下水汚泥・下水熱の有効利用などの「循環の環」の構築が期待されます。



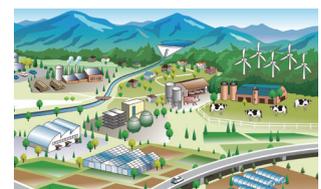
産業集積地域

産業集積地域では、モノづくり基盤を生かしつつ、3Rの取組の一層の高度化と将来の水素社会の到来も見据えた「循環の環」の構築が期待されます。



農業・畜産・林業地域

農業・畜産・林業地域では、豊富なバイオマス資源が存在しており、森林保全対策と連携した「循環の環」の構築が期待されます。



住宅市街地地域

住宅市街地地域では、県民の生活に密着した循環資源である食品廃棄物や使用済み小型家電製品などの広域的な回収ルートの整備とともに、暮らしの豊かさにもつながる「循環の環」の構築が期待されます。



環境部資源循環推進課（あいち資源循環推進センター）

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

TEL 052-954-6233 / FAX 052-953-7776

E-Mail junkan@pref.aichi.lg.jp URL <http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>